

第4回SGH企画講演会

大阪大学未来戦略機構教授の川嶋太津夫先生の講演を1・2年生が聴講しました。

テーマ：「日本と世界で学び、世界に貢献するグローバル人材の育成

～変わる世界、変わる大学～

日時：平成27年12月1日（火） 第6限～第7限

対象：1・2年生全員（551名）

会場：関高校体育館

川嶋先生は関高校OBということで、当時は男子全員が詰襟・坊主頭だったことなどをお話くださり、驚きつつも親近感のある和やかな雰囲気での講演が始まりました。

まずはなぜグローバル化が注目されているのかを理解するために、「グローバル人材育成の背景」を学びました。少子高齢化による国内市場の縮小や生産力の低下により、経済のグローバル化が進み、企業でグローバル人材が求められているというお話でした。先生ご自身の地元のお話を交えながら、企業の海外進出と内なるグローバル化（外国人労働者の増加等）についてお話くださり、とても分かりやすく理解することができました。

また、日本の高等教育の国際化の現状や若者の課題として、留学生の減少や海外に目を向けない「内向き志向」の若者が多いというご指摘があり、自分の今後の一歩を考えさせられる講演でした。



関高校出身の川嶋先生。



豊富な資料で説明してくださいました。



積極的に先生に質問しました。

【生徒の感想】

■私は将来英語の先生になりたいと考えています。次世代の子どもたちに良い英語教育をするために、**私自身も将来留学を経験したい**と思いました。

■グローバル化とよく聞きますが、日本からの視点はあっても、海外からの視点の話はとても新鮮で、**今後私たちがどのように取り組み、どのように社会に進出していけばよいかを考える手掛かり**になりました。

■英語の力はもちろんのこと、自分の思いをしっかりと表現することが大切なのだと思います。普段の生活の中で、授業中などにも**自分の意見をはっきり言っていこう**と思いました。

■川嶋先生のお話で、なぜグローバル化が必要なのかを考えることができました。現代では、国内の企業に勤めて国内で仕事をしていても、外国語がいつ必要になってもおかしくない状況であることが分かり、**グローバル化をとても身近なものに感じました。**

■大学生になったら海外の国へ行き、様々な国の人とコミュニケーションをとれたら楽しいだろうとは思っていましたが、なかなか行動に移せず、また多少話せばなんとかなるだろうという甘えもありました。ヨーロッパの国々では英語を話せるのが当たり前と聞き、焦りました。私も頑張りたと思いました。

■グローバル化する社会の中で、**気持ちの面で消極的にならないように気をつけ、積極的になれるように毎日の生活の中で気をつけていきたい**と思いました。